

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
**【単独・連携事業】**

市町名	野木町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	子ども食堂(地域食堂)	総事業費				319,323	110,000	429,323
		うち市町支出額				300,000	100,000	400,000
		うち県交付金				150,000	50,000	200,000
2	のぎ・歴史を歩こう会	総事業費				200,510	500,000	700,510
		うち市町支出額				200,000	500,000	700,000
		うち県交付金				100,000	250,000	350,000
3	野木町文化祭	総事業費				1,197,934	1,198,000	2,395,934
		うち市町支出額				1,000,000	1,000,000	2,000,000
		うち県交付金				500,000	500,000	1,000,000
4	野木町産業祭	総事業費			2,462,555	2,211,459	2,300,000	6,974,014
		うち市町支出額			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
		うち県交付金			500,000	500,000	500,000	1,500,000
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	0	0	2,462,555	3,929,226	4,108,000	10,499,781
		うち市町支出額	0	0	1,000,000	2,500,000	2,600,000	6,100,000
		うち県交付金	0	0	500,000	1,250,000	1,300,000	3,050,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	こども食堂(地域食堂)
事業主体の名称	ほっとステーション
代表者の名称	小関 良枝
事業主体の所在	
事業主体の概要	<p>-団体の目的:こども食堂の運営を通じ、多様な子ども達の居場所づくりを主たる目的とする。また、地域のふれあいの場として、住民同士の交流を図ることで、協働のまちづくりに寄与する。</p> <p>-設立年月日:平成31年3月1日</p> <p>-構成員等:野木町在住・在勤者</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>-近年、子育て世代の共働き家庭や一人親家庭が増えていることにより、子どもが一人きりで食事をする「孤食」が進行している。子どもだけでなく、高齢者も単身世帯が増加し、社会から孤立してしまうケースも発生している。そこで、「地域の人と触れ合える場所」をつくることで、地域の絆を強め、孤独を作らないことが重要となる。</p> <p>-町内において、こども食堂は開設実績はないが、実際に貧困家庭の存在を確認しており、すみやかな開設が必要とされる。</p>
事業目的	<p>○子どもの貧困対策として、食事の提供や学習支援</p> <p>○地域で孤立した住民をつくらぬような居場所づくり</p>
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>○こども食堂の開設</p> <p>内 容:こども食堂の開設</p> <p>子どもには折り紙やお絵かきなどの遊びを、親には交流の場づくりを提供した。</p> <p>毎回ひとり親世帯で利用する親子が数組おり、相談を受けることもあった。</p> <p>実施回数:4/19、5/17、6/21、7/19、8/9、8/30、9/27、10/18、11/15、12/20、1/17、2/21、全12日(3/27は中止)</p> <p>利用人数:合計427名(1回あたり平均35人)</p> <p>場 所:ボランティア支援センターきり館</p> <p>○ふれあい体験事業については、地域のボランティア団体との交流を図る活動を行った。(交流会、きりフェスタ)</p> <p>○学習支援については、今年度は実施できなかったが、令和3年度は実施する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標3】結婚・出産・子育てしやすい環境づくり</p> <p>【数値目標】</p> <p>15歳～49歳の人口 現状値33人の転出超過 → 目標値100人の転入超過(H27～31年の5年間調査)</p> <p>【KPI】</p> <p>まちづくり(子育てのまち)の満足度 現状値0.24点(H26年調査) → 目標値0.40以上(H31年調査)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和元年度	令和2年度	年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	こども食堂の実施(12回) ふれあい体験事業	こども食堂の実施(13回) ふれあい体験事業 学習支援			こども食堂(地域食堂)の運営 ふれあい体験事業
事業費	319,323	110,000		429,323	110,000
市町支出金(ソフト事業分)	300,000	100,000		400,000	0
うち県交付金	150,000	50,000		200,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	0
うち県交付金				0	
その他自主財源等	19,323	10,000	0	29,323	110,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	野木町生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	川野
電話	0280-57-4132
FAX	0280-57-3945
E-mail	kawano@town.noel.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	こども食堂(地域食堂)	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	300,000	わがまち未来創造事業
会費	19,323	会員5名
計	319,323	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額	自主財源等		
			県交付金		
消耗品費	178,273	178,000	89,000	273	鍋、包丁、食器等 エプロン30枚
通信運搬費	3,300	3,300	1,650	0	送料
手数料	540	540	270	0	振込手数料
保険料	10,080	10,080	5,040	0	ボランティア行事保険
備品購入費	127,130	108,080	54,040	19,050	調理器具(炊飯ジャー、クック キングヒーター)
				0	
				0	
				0	
				0	
計	319,323	300,000	150,000	19,323	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	わが町の歴史再発見を通じた郷土愛の醸成と史跡を活かした地域活性化
事業主体の名称	のぎ・歴史を歩こう会
代表者の名称	関根秋雄
事業主体の所在	〒329-0111 栃木県下都賀郡野木町丸林217-8
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的：歴史さんぽを通して親睦を図るとともに、史跡の掘り起こしを通して地域の歴史を理解しようとするもの。</li> <li>・設立年月日：平成28年4月1日</li> <li>・構成員等：会員15名</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>野木町は栃木県の最南部の人口2万5千人余りの小さな町であるが、首都圏への通勤の利便性と自然が豊かに残る町として、「花とレンガの町」をキャッチフレーズに国の重要文化財となった野木町煉瓦窯を全面に押し出して町の知名度を上げる取り組みを行っている。</p> <p>一方で、町が策定した野木町総合戦略の中に「郷土愛の醸成」を取組内容の一つに掲げているものの、町民の多くは、「野木町には歴史がない!」、「歴史と言っても野木神社と煉瓦窯だけ!」と言った認識が一般的である。野木町の住民を大別すれば、生まれ育った元々の住民と、首都圏などから移り住んできた住民に分けることができる。後者の住民から町が言う「郷土愛」はどこから生み出されるものなのだろうか?生活の場として移り住んだ住民にとっての「郷土愛」とは、まず、その町を知り、その歴史や文化に触れるところから始まるのではないか。そうした郷土愛醸成の具体的な取組はあまりなされていないのが現状であり、課題となっている。今回の取り組みはそうした現状を踏まえ、広く町内外に煉瓦窯だけではなく野木町の歴史・史跡を再認識してもらい、それを啓発するための事業である。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内各所に残る神社や寺院、古代の遺跡、石塔群などを巡ることで野木町の歴史再発見を試みる。</li> <li>・町民参加による史跡あるきを通して、野木町および住民自らが住む地域の歴史に触れることで「郷土愛の醸成」につなげる。</li> <li>・野木町は「健康タウン・のぎ」を宣言し、健康づくりに町を上げて取り組んでいる。史跡あるきを通じて、町の豊かな自然が織りなす田園風景の中で史跡あるきをすることで、町が提唱する「健康づくり」に寄与する。</li> <li>・「野木町郷土館」のリニューアルと啓蒙活動に取り組んでいる野木歴史文化伝承会と連携し、町内に散在する史跡と郷土館の歴史資料をリンクさせることで、立体的に町の歴史を町内外に発信する。</li> <li>・「野木町史跡あるきガイドブック」を発刊し、野木町の史跡に興味関心をもつ町民及び町外の観光客の便に供し、野木町の知名度を上げる一助とする。</li> </ul>
事業概要	<p>【令和元年度】 野木町にある10の大字ごとに町民参加による史跡めぐりを企画し、基礎資料の収集を図った。 ○1年かけてすでに取り組んだ地区についての再調査を行い、基礎資料づくりに取り組んだ。 ○12コース程度の史跡あるきマップを作成した。</p> <p>○野木歴史文化伝承会と連携し、野木町郷土館の歴史・民俗資料の活用に取り組んだ。</p> <p>【令和2年度】 前年度の活動とその成果を踏まえて、野木町で最初となる史跡あるきのガイドブック「野木町史跡あるきガイドブック」を刊行する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【基本目標4】時代にあった地域づくり 【数値目標】 野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値80.7%(平成26年調査) → 目標値90.0%以上(平成31年調査) 【KPI】 野木町の魅力の町外へのPR活動件数 現状値14件(H26年度) → 目標値20件(平成31年度)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	令和元年度	2年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①町民参加による史跡あるき(4回) ②町内各地区の史跡再調査と写真記録の収集 ③基礎資料に基づいた「史跡めぐりマップ」の作成 ④野木町郷土館の活用	①町民参加による史跡あるき(4回) ②町内各地区の史跡再調査と写真記録の収集 ③基礎資料に基づいた「史跡めぐりマップ」の作成 ④「野木町史跡めぐりガイドブック」の刊行			①町民参加による史跡あるきの継続 ②「史跡ガイドブック」に基づいたイラスト付きの町内各区域の史跡めぐりマップの作成と刊行
事業費	200,510	500,000		700,510	50,000
市町支出金(ソフト事業分)	200,000	500,000		700,000	0
うち県交付金	100,000	250,000		350,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0		0	0
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	510	0	0	510	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	野木町生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	川野
電話	0280-57-4132
FAX	0280-57-3945
E-mail	kawano@town.nori.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	わが町の歴史再発見を通した郷土愛の醸成と史跡を活かした地域活性化	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	200,000	
自主財源	510	
計	200,510	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	10,000	10,000	5,000	0	原稿料謝礼
旅費	2,680	2,680	1,340	0	調査に係る交通費
消耗品費	176,690	176,180	88,090	510	書籍、事務用品、スタッフ ジャケット等
印刷製本費	11,140	11,140	5,570	0	写真代、プリント代等
			0	0	
			0	0	
			0	0	
			0	0	
			0	0	
計	200,510	200,000	100,000	510	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	野木町
事業名	野木町文化祭
事業主体の名称	野木町文化祭実行委員会
代表者の名称	実行委員長 真瀬宏子
事業主体の所在	〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町教育委員会事務局 生涯学習課内」
事業主体の概要	・団体の目的:野木町文化祭の開催事業の具体的な推進を図る。 ・構成員等:野木町文化協会役員及び野木町教育委員等
当該事業に係る地域の現状と課題	野木町は、町民の文化・芸術に対する関心を高め、「ひとりいち文化活動」の推進、すなわち文化活動への参加意欲を喚起し、生涯学習を振興することを目的とし、毎年10月中旬～11月上旬にかけ「野木町文化祭」を開催してきた。 しかし、近年、文化協会会員の高齢化や会員数の減少に伴い、文化祭参加者も減少傾向にある。町民の趣味嗜好の多様化なども起因しているものと考えられる。いかにして参加者を増やし、芸術文化の振興という目的のもと、町民の一体感を醸成していくかが課題となっている。
事業目的	・文化・芸術活動に参加する町民を増やす。 ・町民の創作意欲の高揚を喚起する。 ・文化芸術の側面から町民の交流を図り、ふるさと意識の高揚と一体感の醸成を図る。 ・多様化する文化芸術団体の成果発表の受け皿となる。
事業概要	○野木町文化祭の開催(令和元年10月19日(土)～11月3日(日)) ＜概要＞ ①ダンスパーティー 10月19日(土)13時30分～16時15分 ②音楽会 10月20日(日)9時30分～14時45分 ③囲碁大会 10月20日(日)9時30分～16時 ④将棋大会 11月3日(日)9時30分～16時 ⑤展示発表会 10月25日(金)・10月26日(土)・10月27日(日) 9時～16時 ※華道は26日・27日 ⑥茶会 10月26日(土)9時～15時 ⑦映画会 10月27日(日)13時～15時 ⑧芸能発表会 11月3日(日)9時30分～14時30分 (式典)11時～12時 ⑨模擬店 10月25日(金)・10月26日(土)・10月27日(日)・11月3日(日)9時～15時 ⑩郷土館公開展示 10月25日(金)・10月26日(土)・10月27日(日) 9時～16時  4会場/100団体/延3,616人来場/協力役員数延1,051人
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【基本目標2】人を呼び込むための魅力づくり 【KPI】まちづくり(教育のまち)の満足度 現状値:0.29点(平成26年調査) → 目標値:0.45点(平成31年調査) 【基本目標4】時代にあった地域づくり 【数値目標】野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合 現状値:80.7%(平成26年調査) → 目標値:90.0%(平成31年調査)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	各種文化事業の実施 ①ダンスパーティー ②音楽会 ③囲碁大会 ④将棋大会 ⑤展示発表会 ⑥茶会 ⑦映画会 ⑧芸能発表会 ⑨模擬店 ⑩郷土館公開展示	各種文化事業の実施 ①ダンスパーティー ②音楽会 ③囲碁大会 ④将棋大会 ⑤展示発表会 ⑥茶会 ⑦映画会 ⑧芸能発表会 ⑨模擬店 ⑩郷土館公開展示			各種文化事業の実施 ①ダンスパーティー ②音楽会 ③囲碁大会 ④将棋大会 ⑤展示発表会 ⑥茶会 ⑦映画会 ⑧芸能発表会 ⑨模擬店 ⑩郷土館公開展示
事業費	1,197,934	1,198,000		2,395,934	1,198,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000		2,000,000	0
うち県交付金	500,000	500,000		1,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0		0	0
うち県交付金	0	0		0	
その他自主財源等	197,934	198,000	0	395,934	1,198,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	野木町生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	川野
電話	0280-57-4132
FAX	0280-57-3945
E-mail	kawano@town.no.lg.jp

## 栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
単位事業名	野木町文化祭		
対象年度	令和元	年度	

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考	
野木町支出金	1,000,000		
自主財源	197,931		
雑入	3	口座利子	
計	1,197,934		

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	35,000	35,000	17,500	0	ダンスパーティー伴奏者謝礼
消耗品費	102,494	102,494	51,247	0	模造紙、色画用紙、ロール紙、映画用ポスター等
印刷製本費	63,720	63,720	31,860	0	文化祭プログラム
保険料	29,500	29,500	14,750	0	会場設営保険料
手数料等	10,220	10,220	5,110	0	白布クリーニング代等
委託料	517,000	517,000	258,500	0	照明音響業務委託
使用料及び賃借料	440,000	242,066	121,033	197,934	映画会フィルム借り上げ
			0	0	
			0	0	
計	1,197,934	1,000,000	500,000	197,934	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名

野木町

事業名

野木町産業祭

事業主体の名称

野木町産業祭実行委員会

代表者の名称

会長 真瀬 宏子

事業主体の所在

〒329-0195 栃木県下都賀郡野木町大字丸林571「野木町役場産業課商工係内」

事業主体の概要

・団体の目的:町産業を一堂に集め、地域住民への紹介を通して小さくともキラリと光る町づくり及び農業・工業・商業の調和のとれた発展に寄与することを目的とする。  
・設立年月日:昭和53年4月1日  
・構成員等:町観光協会、町工場協会、商工会、農業協同組合、等 計22名

当該事業に係る地域の現状と課題

町内の農業・工業・商業の発展のために昭和53年より開催している野木町産業祭は、今年度で42回を迎え本町の秋の風物詩となっており、平成30年度には6千人の来場者があり、町民も町内の企業や農産物が一堂に会する機会を心待ちにしており、地産地消にも貢献している。  
農産物共進会では、県知事賞及び県農政部長賞等の賞を設け、生産者の出品意欲の向上に寄与しているが、生産者の高齢化により、出品数も年々減少傾向ではあるが、今年度は生産者の協力により昨年度より出品数が増加された。今年度より実施日を土曜日に変更したが、町内産業が一堂に会する機会として定着しているため、集客はある程度見込まれた。今後も秋の風物詩として更なる推進のため、イベント内容の充実を図る。

事業目的

・町内の農業・工業・商業を紹介することにより、地元産業への理解を深めるきっかけ。  
・町民参加型のイベント等を開催することにより、町産業界と町民が一体となって町内の持続的な発展、活性化に向けた機運の醸成を図る。

事業概要

【令和元年度】  
・野木町産業祭の開催趣旨に基づき、農・商・工分野の各団体が一丸となり、農業部門では、「農産物共進会」を商業、工業部門では模擬店工業製品等の展示の各種催事を実施した。  
事業内容  
①実行委員会の開催  
実行委員を招集し、事業内容、収支予算等を検討した。  
②チラシ等の作成、配布  
チラシ10,000枚(町内各戸、商工会会員、協賛企業等、来場者等)  
③産業祭の開催  
各部会が中心となって、各種イベントを開催  
1)農業の部  
農産物共進会及び即売会(町内農家による農産物品評及び農産物の即売)  
ふるさと鍋コーナー(地元農産物を使用した鍋(豚汁)販売)  
丸太切体験や農機具乗車体験(認定農業者による体験コーナー) /  
2)商業の部  
日用品等即売会(商工会会員店舗による即売会)  
ふれあい模擬店(町内店舗及び各種団体による模擬店)等  
3)工業の部:工業製品等展示(町内工場による製品展示)  
4)プレゼントコーナー  
新米・堆肥のプレゼント(町内産農産物の無料配布)  
苗木配布及び緑の募金活動(緑化推進事業による苗木の配布)  
5)イベントコーナー  
記念缶バッジ作成体験とこどもコーナーのストラックアウト(町観光協会協力による体験)

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

「基本目標2」人呼び込むための魅力づくり  
「KPI」観光入込客数 現状値:116,491人(平成26年度) → 目標値:186,491人(令和元年度)「R1実績 5,000人」  
「基本目標4」時代にあった地域づくり  
「数値目標」野木町に住み続けたい、住み続けると思う人の割合  
現状値:80.7%(平成26年調査) → 目標数値:90.0%(令和元年調査)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	元年度	2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①実行委員会の開催 ②ポスター、パンフレット等の作成・配布 ③産業祭の開催	①実行委員会の開催 ②チラシ作成、配布 ③産業祭の開催	①実行委員会の開催 ②チラシ作成、配布 ③産業祭の開催		①実行委員会の開催 ②チラシ作成、配布 ③産業祭の開催
事業費	2,462,555	2,211,459	2,300,000	6,874,014	2,300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	0
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,462,555	1,211,459	1,300,000	3,974,014	2,300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	野木町生活環境課 人権・協働推進係
担当者名	川野
電話	0280-57-4132
連絡先 FAX	0280-57-3945
E-mail	kawano@town.nogi.lg.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業収支予算(精算)書)

市町名	野木町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	野木町産業祭	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
野木町支出金	1,000,000	
協賛金	570,000	企業・団体等からの協賛金(38社・団体等)
雑収入	50,524	ふるさと鍋売上金・利息
繰越金	590,935	前年度繰越金
計	2,211,459	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町支出額	県交付金		
報償費	16,344	16,344	8,172	0	共進会審査委員粗品代、来 賓記念品代等
消耗品費	8,040	8,040	4,020	0	スズランテープ、ロープ、 布テープ、石灰等
食料費	80,592	0	0	80,592	スタッフ弁当、飲み物代
印刷製本費	86,900	86,900	43,450	0	チラシ 10,000枚
手数料費	10,450	10,450	5,225	0	振込手数料 1,650円 クリーニング8,800円
保険料	12,000	12,000	6,000	0	来場者及びスタッフ保険料
委託料	1,465,575	866,266	433,133	599,309	会場設営 935,000円 各イベントコーナー 530,575
次年度繰越金	531,558	0	0	531,558	
				0	
				0	
計	2,211,459	1,000,000	500,000	1,211,459	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合